

## 2025 年度 第3期 オンライン研修・講習会のお知らせ

一般社団法人日本音楽療法学会  
研修・講習委員会

2025 年度 第3期 オンライン研修・講習会は、**新作2講座(再配信:資格指定講座2講座)**をご視聴いただけます。**2026 年 1 月 8 日(木) 正午～2026 年 3 月 31 日(火)午後 11 時 59 分まで**視聴することができます。**動画の視聴申込は 2026 年 1 月 8 日(木)正午より、マイページにて行ってください。**

### ◆視聴申込、ご入金について

(銀行振入の場合) 振込受付は、2026 年 3 月 26 日(木)までです。※期日厳守でお振込みください。  
(クレジットの場合) クレジットのみ、3 月 31 日まで決済可能。決済完了後、視聴期間～3 月 31 日まで。

◆視聴料:1講座 2,500 円

## □ 2025・第3期 - 新作1 (ベーシック枠)



伊藤 孝子 氏

タイトル	音楽療法実践を支える観察 ― 基礎から振り返る ―
内容	<p>本講座では、普段の音楽療法実践の中で行われている「観察」に改めて目を向け、その記録や評価のプロセスを基礎から振り返り、思考を整理し、新たな視点を得ることを目的とします。セッション中や終了後に、クライアントや場の様子をどのように捉え、どのように意味づけ、記録として残していくのかについて、具体的な事例や簡単なワークを交えながら一緒に考えていきます。</p> <p>「観察や記録、評価の手順」と聞くと、やり方がわからず不安に思う方もいるかもしれませんが、皆さんが日々行っている実践の中には、すでに観察や評価の大切なプロセスが含まれていると思います。</p> <p>講座を通してこうした気づきを得ることで、皆さん自身の実践を振り返り、思考を深めていくきっかけになればと願っています。</p>
講師名	伊藤 孝子 氏
プロフィール	<p>広島大学大学院博士課程前期(教科教育学)在学中に、広島心理相談室音楽療育部門(代表:松原まゆみ氏)にて障害児に対する音楽療法を学ぶ。</p> <p>その後、広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程後期にて、岩永誠氏の指導の下音楽心理学の研究を行う。</p> <p>博士課程後期退学後、2002 年度に岐阜県音楽療法研究所の研究員を勤め、2002 年度から名古屋芸術大学教員。2015 年よりノルウェーを定期的に訪問しながらコミュニティ音楽療法の実地調査を行っている。</p> <p>名古屋芸術大学総合研究所内音楽療法グループ「マイエ」主任。</p>

## □ 2025・第3期 - 新作2（アドバンスト枠）



伊藤 孝子 氏

タイトル	観察・記録・評価をめぐる省察的音楽療法実践の可能性
内容	<p>本講座では、音楽療法実践における「観察・記録・評価」について、一般的に想定される「観察したものを記録し、それを評価する」という時系列的な流れを問い直します。実際の現場では、これらは明確に分けられるものではなく、特に観察行為はプロセスの中でずっと連続し繰り返されるという実感を持つ方も多いでしょう。この現象を省察的实践家（D.ショーン）の視点から捉え直すことで、時系列的・カテゴリー的な切り取りの危うさに目を向けます。また、「観察・記録・評価」は一般に音楽療法士側が行う行為ですが、その一方向性が孕むリスクにも注目します。この問題を具体的に考えるために、オープンダイアログやアートベースド・リサーチの知見を踏まえ、私自身がクライアントとともにいる実践の評価（振り返り）の取り組みを紹介します。</p>
講師名	伊藤 孝子 氏
プロフィール	<p>広島大学大学院博士課程前期(教科教育学)在学中に、広島心理相談室音楽療育部門(代表: 松原まゆみ氏)にて障害児に対する音楽療法を学ぶ。その後、広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程後期にて、岩永誠氏の指導の下音楽心理学の研究を行う。博士課程後期退学後、2002 年度に岐阜県音楽療法研究所の研究員を勤め、2002 年度から名古屋芸術大学教員。2015 年よりルウェーを定期的に訪問しながらコミュニティ音楽療法の実地調査を行っている。名古屋芸術大学総合研究所内音楽療法グループ「マイエ」主任。</p>

□ 2025・第3期 – 再配信1（資格更新指定講座）



村林 信行 氏

タイトル	音楽療法を行ううえで必要な倫理的な考え方について―臨床・研究を中心として―
内容	<p>音楽療法士が対人援助の専門職として社会に認知されると、専門家としての倫理的な態度が要請される。倫理的な態度とは、人間同士が関わる場面で相手に対する影響に関してそれなりの配慮をすることと言える。</p> <p>日常臨床では音楽療法士はクライアントと比較して、音楽療法に対して多くの知識と経験を持っている。このことから、クライアントに対してどのようなことに配慮することが適切なのか。</p> <p>また近年個人情報保護法が改正され、人を対象とする研究に関して、研究者に求められる配慮事項や、対象者に説明する項目がより詳細になってきている。</p> <p>本講習会では、音楽療法士に必要な倫理的な考え方を、職業倫理、研究倫理を中心として解説し、研究倫理に関しては近年の変化についても知識の共有をはかりたい。</p>
講師名	村林 信行 氏
プロフィール	<p>1986 年 東邦大学医学部卒、同年東邦大学心身医学研究室入局</p> <p>1996 年 聖路加国際病院内科（心療内科担当）</p> <p>1999 年 横浜相原病院心療内科医長</p> <p>2004 年 医療法人社団信俊会 心療内科アーツクリニック大崎院長</p> <p>日本音楽療法学会常任理事、学術・研究委員会委員長</p> <p>昭和音楽大学客員教授</p> <p>精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医</p> <p>日本心身医学会代議員、日本うつ病学会評議員、日本ストレス学会評議員</p> <p>日本行動医学会評議員</p>

※ご視聴いただくにあたっては、当学会発行テキスト：『日本音楽療法学会 倫理ハンドブック』をご用意ください。

□ 2025・第3期 – 再配信2（資格更新指定講座）



延増 拓郎 氏

タイトル	音楽療法士のための「著作権の法的知識と実務の基本」
内容	<p>音楽療法士は、音楽療法実践において、楽曲や、楽譜又は歌詞カードを使用しています。楽曲をそのまま使用するのではなく、替歌や編曲を行うこともあります。</p> <p>楽曲の使用方法も、対面の場合、オンラインの場合、YouTube 等の動画を利用する場合など、さまざまです。音楽療法実践だけでなく、音楽療法の研修会・講習会において楽曲等を使用することもあります。一方、著作権法は、作詞家・作曲家、歌手・演奏家等の権利を保護しています。したがって、楽曲の使用の際には著作権に配慮する必要があります。今回の研修では、音楽療法士において必要な、著作権の法的知識と実務の基本について、近時の参考となる裁判例もご紹介してご説明をいたします。</p>
講師名	延増 拓郎 氏
プロフィール	<p>1994 年 明治大学法学部卒業</p> <p>1998 年 司法試験合格</p> <p>2000 年 弁護士登録 原山法律事務所入所</p> <p>2003 年 石寄信憲法律事務所（現在石寄・山中総合法律事務所）入所</p> <p>2011 年 ヴァイスパートナー就任</p> <p>2013 年 パートナー就任</p> <p>2022 年 代表弁護士就任</p>